

**令和元年度  
第1回地域振興会議会長会議事概要**

日 時：令和元年8月22日（木） 14：30～17：00  
場 所：鳥取市高齢者福祉センター2階 研修室

〔本庁関係〕 2名

市民生活部 安本部長

〔各地域振興会議〕 16名

会 長：森田会長(国府)、南部会長(福部)、竹田会長(河原)、西川会長(用瀬)

小谷会長(佐治)、河根会長(気高)、小川会長(鹿野)、高橋会長(青谷)

総合支所：岸田国府副支所長、平戸福部支所長、九鬼河原支所長、片山用瀬支所長

西尾佐治支所長、武田気高支所長、徳岡鹿野支所長、山本青谷支所長

〔説明者〕 6名

鳥取県地域交通政策課 田中課長補佐

総務部庁舎整備局 松本局長補佐

市民生活部協働推進課 谷口課長、宮崎課長補佐

都市整備部交通政策課 湯谷課長、筒井課長補佐

〔事務局〕 4名

市民生活部地域振興課 田中次長、吉田課長補佐、小野主事、岡本主事

**【会議次第】**

- 1 開 会
- 2 あいさつ
- 3 本市重要施策に関する情報提供及び説明
  - (1) 鳥取市役所新本庁舎の整備状況について
  - (2) 地域組織のあり方検討～協働のまちづくり元年から10年が経過して～
  - (3) 鳥取県の交通政策の取組み
  - (4) 鳥取市の交通政策の取組み
- 4 閉 会

# 議 事 概 要

## 1 開 会 (14:30)

## 2 安本部長あいさつ (14:31)

## 3 本市重要施策に関する情報提供及び説明 (14:35~17:00)

(1) 鳥取市役所新本庁舎の整備状況について (説明: 鳥取市庁舎整備局 松本局長補佐)

### 質疑応答

- (青谷 高橋会長) 駐車場について、深夜や休日の利用はどうか。  
(松本局長補佐) 駐車場の管理は事業者に委託する。休日・夜間は駐車場の利用は可能だが有料となる。  
(福部 南部会長) 新本庁舎建設にあたり、分散されている庁舎を集約させることを要件としていたが、すべての庁舎を集約することはできたのか。  
(松本局長補佐) 本庁、第2庁舎、駅南庁舎、福祉文化会館、鳥取県東部庁舎の各課は集約することができた。保健所は駅南庁舎に移転する。  
(福部 南部会長) 会議室の利用について、団体に借りることは可能か。  
(松本局長補佐) 市民交流棟の多目的室を使用できる。市の関連の会議であれば新本庁舎の会議室を使用することも可能。どのような団体が利用するかによる。  
(福部 南部会長) 鳥取市自治連合会の会議で新本庁舎の会議室を利用することは可能か。  
(松本局長補佐) 新本庁舎の会議室の運用規定については財産経営課が検討しているところ。  
(福部 南部会長) 会議室の使用料はかかるのか。  
(松本局長補佐) 新本庁舎内の会議室の利用料は無料。市民交流棟の多目的室は有料。  
(田中次長) 自治連合会での会議室利用については財産経営課、協働推進課に確認して後日回答する。  
(河原 竹田会長) 駐車場は職員も利用するのか。  
(田中次長) 職員は個人で駐車場を借りているため、利用することはない。  
(河原 竹田会長) 市議会議員の駐車場はどうか。  
(松本局長補佐) 議員の駐車場については現在市議会事務局が調整中。  
(河原 竹田会長) 市議会議員も別に駐車場を借りるようにしてほしい。

(2) 地域組織のあり方検討～協働のまちづくり元年から10年が経過して～

(説明: 鳥取市協働推進課 谷口課長、宮崎課長補佐)

### 質疑応答

- (気高 河根会長) 公民館長の負担が増えている。勤務時間が短いわりに仕事量が多い。待遇改善について検討をしていると聞いたが、状況はどうか。  
(谷口課長) 現在館長は鳥取市の特別職の非常勤職員という扱い。昨年勤務時間実態調査を行ったところ、適切だと思われる勤務時間は週15~20時間という回答が半数以上あった。9月議会で議決されたら、令和2年度から非常勤職員は会計年度任用職員となり、館長も会計年度任用職員として週19時間勤務という形態になる予定。  
(河原 竹田会長) 地区によって公民館職員の人数が違うのはなぜか。  
(谷口課長) 現在、酒津地区と小鷲河地区の職員は2名でそれ以外の地区は3名。市の支援制度では職員1名の配置かまちづくり協議会の活動支援40万円を80万円とするか選択できるようになっている。酒津地区と小鷲河地区では80万円の支援を選択されている。ただし、欠員のため職員数が少ない地区もある。  
(河原 竹田会長) 職員は皆嘱託職員か。勤務時間はどうか。  
(谷口課長) 勤務時間は4週間で116時間。来年度からは全員会計年度任用職員になり、期末手当も支給される予定。  
(用瀬 西川会長) 令和2年度からの公民館の地域運営の試行はどこで地区で行うのか。  
(谷口課長) まだ決定していない。現在希望をされているのは佐治地区。

- (3) 鳥取県の交通政策の取組み (説明：鳥取県地域交通政策課 田中課長補佐)  
(4) 鳥取市の交通政策の取組み (説明：鳥取市交通政策課 湯谷課長、筒井課長補佐)

※ (3) (4) については併せて質疑応答を実施

質疑応答

- (福部 南部会長) 運転免許証自主返納支援制度について、バスの定期券補助ではなく、タクシーの利用費補助の方がいいのではないかと。
- (湯谷課長) 自主返納者に対する支援については庁内のプロジェクトチームで検討中であり、来年度に見直しを行う予定。
- (福部 南部会長) バスの定期券補助というのはバス路線が通っていない所に住んでいる人には関係がないこと。検討に期待している。
- (筒井課長補佐) 鳥取県についても今までは路線バスの維持を中心にについて支援を行っていたが、現在研究会を立ち上げており、市もメンバーに入り、タクシー利用など新たな公共交通の支援制度について検討を重ねている。国についても、バスの補助しかなかったが、タクシーの補助について検討をしている。ニーズが高まっていることも把握しているので、実現に向けて頑張りたいと思う。
- (気高 河根会長) 現在地域で小学校の統廃合問題が課題になっている。市有償運送とスクールバスがリンクした運営は可能か伺いたい。
- (湯谷課長) 地域で共助交通に取り組み、車両を購入された場合、その車両は別の用途にも活用できる。例を挙げれば、大和地区では購入した車両を敬老会の送迎に使用されている。弾力的な活用をしていただければよい。
- (青谷 高橋会長) 新市域は元々バス路線が充実していないので、バス定期券の補助があっても恩恵をあまり受けられない。そのため、選べられる選択肢が必要だと思うし、その選択肢ができれば免許返納率も上がるのではないかと。今後も地域のニーズを吸い上げて検討をお願いしたい。

#### 4 閉 会 (17:00)